

2020 SL カートミーティング ソニックパークシリーズ

特別規則書

本大会は、国際自動車連盟(F I A)の国際モータースポーツ競技規則と国際カート規則、それに準拠したJ A F 国内競技規則、及びJ A F 国内カート競技規則とその付則と本特別規則書ならびに公式通知に従って開催される。

第1章 大会開催に関する事項

[第1条 競技会の名称]

2020SLカートミーティング ソニックパークシリーズ

[第2条 競技種目]

第1種競技車両及びリブレ車両によるスプリントレース

[第3条 開催クラス]

SSクラス

スーパーSSクラス

[第4条 日程]

第1戦 7月26日(日)

第2戦 9月6日(日)

第3戦 10月18日(日)

第4戦 12月6日(日)

[第5条 大会役員および競技役員]

公式プログラムに記載する

第2章 競技会参加に関する事項

[第6条 参加定員]

参加受付台数は各クラス先着28台とし、受付順とする。

[第7条 参加資格]

[ドライバー]

SSクラス

小学6年生以上で2020年有効なSL-B以上の所持者

スーパーSSクラス

30歳以上で2020年有効なSL-B以上の所持者

※学年については当該学年とする。

※2020年SLメンバーズブックの所持を義務付ける

※SLO安全協力会への加入を義務付ける

※20歳未満の者は親権者または保護者の出場承諾書を提出しなければならない。

[第8条 参加申込先および受付期間]

参加申込は直接持参または現金書留にて締切日必着とする
FAX等によるエントリーの場合は、締切日までにエントリーフィーの払い込みをすること。

申し込み先：ソニックパーク安心院

Tel: 0978-44-0322 Fax: 0978-44-0367

参加申込受付期間は大会開催日1ヶ月前よりレース開催日の1週間前17時までとする。

[第9条 エントリーフィーおよびピットクルー登録料]

[エントリーフィー]

1人1クラスにつき11,000円

[ピットクルー登録料]

2名までエントリーフィーに含む

[第10条 参加受理と参加拒否]

参加申込者に対して大会事務局より参加受理または参加拒否が通知され、参加を拒否された申込者に対してはエントリーフィーが返還される。また、参加を受理された後に参加を取り消す場合、エントリーフィーは返還されない。

第3章 エンジンおよびカートに関する事項

[第11条 参加車両]

「JAFカート競技車両規則第2章」に合致した第1種競技車両であること(2020年SLカートミーティング車両規定に準ずる)

[第12条 シャシー、エンジンおよびタイヤの登録]

1.競技に使用するシャシー、エンジンおよびタイヤは車両申告書に登録済みのものとする。

2.登録できる数は、シャシー1基、エンジン1基、タイヤはレイン、スリック共に1セットとする。ただし予期せぬトラブルにより使用不可となった場合は、技術委員長の承認のもとにスリック、レイン共に1本のみ交換が認められる。

3.タイヤのグルーピング、薬剤の使用、極度に古いタイヤの使用は認めない。

[第13条 最低重量]

最低重量を満たすためバラスト(重り)を積む必要がある場合は全て固形材料を用い車体に6ミリ以上のボルト・ナットで2箇所以上に堅固に取り付けなければならない。

[第 14 条 競技ナンバー(ゼッケン)]

「JAF 国内カート競技車両規則」第 2 章第 9 条に従った競技ナンバーを前後に取り付けること。

競技ナンバーのカラー及びベースカラーについては黄色または白ベースに黒文字通りとする。

[第 15 条 インレットサイレンサー(吸気消音器)]

SL 純正のインレットサイレンサーを取り付けること。

[第 16 条 チェーンガード]

チェーンガードは必備とし、かつ下記項目をみたしていなければならない。

- 幅は 3 cm 以上あり車両上方から見てチェーンが見えない状態であること。
- 車両側方より見てドライブ側スプロケットとリア側スプロケットを結ぶ線の上の部分の有効に覆っていること。
- 車両側方より見てドライブ側スプロケットが見えない状態であること。なお、クラッチ付きカートにおいては、上記は除かれるが、クラッチカバー（ハウジングカバー）および SL クラッチにおいては SL クラッチプロテクター（サポートおよび SL クラッチカバー）を取付けなければならない。
- チェーンガードおよびクラッチプロテクターの補強追加は認められる。

※直結式（クラッチ付でない）場合、フルカバータイプのチェーンカバーの取付を強く推奨します。

[第 17 条 車両検査(車検)]

1. 「JAF 国内カート競技規則 競技会参加に関する規定」

第 3 章第 12 条に基づき各エントラントの責任の下、車両検査が行われる。この際、規則に不適合な部分がありながらも、技術委員に発見されなかった場合であっても承認を意味するものではなく、レース中にそれに関する疑義が生じた場合は旗の提示を受ける場合がある。

また、車両検査にて違反等が発見されない場合でも、技術委員は車両の疑義についていかなる場合も検査をする資格を有する。

2. 車両検査において登録されたエンジンを、技術委員長の承認のもと公式練習開始までに変更することは認められる。

3. 車両検査の日時および場所は公式通知にて通知される。

4. ドライバーは公式検査に立ち会わなければならない。その際、装備に関しても「JAF 国内カート競技規則競技会参加に関する規定」第 3 章第 11 条を適用する。また、車両検査において技術委員の点検を受けるものと

する。

5. ドライバーの服装は装備の一部と見なされ、車検の対象となる。競技を安全に行うことを目的に CIK/JAF 公認実績のあるレーシングカートスーツの着用が義務づけられる。グローブ（手袋）、シューズ（足首まで保護する靴）など、それぞれ丈夫なものでなければならない。なお、小学生にはネックガードおよびリブプロテクターの装着を義務づける。※小学生以外にもネックガード、リブプロテクターの装着を推奨します。

6. ヘルメットはフルフェイスタイプとし以下の規格のいずれかを有するものを強く推奨する。著しく角ばったものは禁止とする。また傷のあるもの、製造より 5 年以上経過したものはレース使用を認めないことがある。

- FIA 規定（付則 L 項第 3 章第 1 条および CIK-FIA 技術規則 Appendix No2）に適合したもの。15 歳以下は Snell FIA CMS/R2007 規格適合品の使用を強く推奨する。

- 日本工業規格（JIS 8133:200）、JIS-C 種、または 2 種

- スウェーデン規格（SIS 88、24、11(2)）

- デンマーク規格（DS 2124、1）

- フィンランド規格（SFS 3653）

- ドイツ規格（ONS/OMK：白地または青地に黒、白地に青または白地に赤レベルのみ）

- スネル規格（1990 SA および 1995 SA、SFI spec 31、1 および SFI spec 31、

- イギリス規格（BS 6658-85 タイプ A およびすべての修正型を含むタイプ A/FR）

- フランス規格（NF S 72 305） 欧州経済共同体規格（E 22 02、03 または 04 シリーズ） 上記規格に適合しないものでは JAF 公認競技用ヘルメットの使用が推奨される。

7. 「JAF 国内カート競技規則競技会運営に関する規定」第 8 章 30、31 条に基づき計量ならびに再車検が行われる。

[第 18 条 自動計測装置(トランスポンダー)]

参加者は公式練習までに車両に自動計測装置を取り付けなければならない。取り付けを拒否した場合当該車両およびドライバーの出走は認められない。自動計測装置の配布は公式練習開始前に行い、レース終了後は速やかに返却すること。

[第 19 条 その他の規定]

その他の規定については、最終頁の概要を参照すること。

第 4 章 競技に関する事項

[第 20 条 ドライバースミューティング]

全ドライバーは、ドライバースミューティングに参加しなければならない。不参加の場合、レースへの出走を認めない。

[第 21 条 公式練習]

全てのドライバーは公式練習に参加しなければならない。ただし、ピットアウトスタートラインを通過する前に停止した場合もコントロールタワー前の通過をもって公式練習に参加したものと認められる。公式練習に参加しない場合は参加の意志無しとみなし、レースから除外される。公式練習の時間は 8 分とする。

[第 22 条 タイムアタック]

1. 各クラス 5 分間のタイム計測を行う。
2. タイムアタック開始の合図は、スタート旗（国旗）の提示により行う。
3. タイムアタック開始後にピットインした車両は、再度ピットアウトすることは認められない。
4. タイムアタックに参加しなかった者は予選ヒート最後尾とし、該当者が複数いる場合はゼッケンの少ない者を優先する。また、タイムアタックで失格となった者は予選ヒート最後尾とし、該当者が複数いる場合はゼッケンの少ない者を優先する。
6. タイムアタックのベストラップが同タイムの場合は、セカンドタイムにより順位を決定する。
7. やむを得ずタイムアタックをその他の方法で行う場合は、公式通知により発表する。

[第 23 条 レースの方式]

予選ヒート 10 周、決勝ヒート 14 周とする。

天候の急変や事故等が起こった場合、周回数を減らしたり、予選ヒートの結果をもって最終結果とする場合がある。

[第 24 条 スタートグリッド]

予選ヒートのグリッドは、タイムアタックの結果による。決勝ヒートのグリッドは、予選ヒートの結果による。

[第 25 条 スタート]

1. 信号によるローリングスタートとする。
2. ローリング中、ドライバーは 2 列の隊列で低速走行し、スタートラインへ向かう。スタートライン 25m 手前に引かれたイエローラインを越えるまでは加速してはならない。

3. コース長がイエローライン前に加速をしないと判断した場合、赤信号を消灯しスタートの合図とする。イエローライン前の加速に問題がある場合は、コース長はローリングがさらに 1 周行われることを合図するために赤信号の点灯を続ける。
4. ローリング中に隊列のペースを乱す者があった場合は、白 / 黒の警告旗が示される。フロントローでそれが繰り返された場合は、最後尾に繰り下げられる場合がある。
5. ローリング中、自分のグリッドを維持するのはドライバーの責任である。ローリング中に停止した場合は、全車両が通過するまでは再スタートしてはならない。また再スタート後は隊列の先頭車を待って自分のグリッドに戻ることは禁止され、これに違反した場合は当該ドライバーに対し黒旗が振られ当該ヒート失格となる。この他隊列から大きく遅れたドライバーも隊列の最後尾に付き、自分のグリッドに戻ってはならない。この場合、当該ドライバーに対して白地に赤バツテンの旗が示され、当該ドライバーは隊列の最後尾に付かなければならない。
6. スタート後、先頭車両が 1 周するまでにスタートラインを越えられない車両はそのヒートを出走できない。
7. ローリング中、最終コーナー（14 コーナー）手前のパイロンからスタートまでは追い越しを禁止する。
8. ピットスタートとなった場合のコースインに関してはオフィシャルの指示に従うものこと。また、自分のグリッドに戻ることは許されず、最後尾よりスタートしなければならない。

[第 26 条 信号]

「JAF カート競技規則」カート競技連合会に関する規定第 3 章に従う。

[第 27 条 給油]

レース中の給油は禁止する。

[第 28 条 レースの中断]

「JAF 国内カート競技規則 カート競技会運営に関する規定」第 9 章第 35 条に従う。

赤旗中断の場合、競技長の指示があるまでピット要員はコースへの立ち入りおよび車両の整備を行ってはならない。グリッド上での燃料の給油は禁止する。

[第 29 条 レースの終了]

1. 1位のドライバーがフィニッシュラインを通過後2以内にカートが自力で同ラインを通過したドライバーに対してチェッカーフラッグが振られる。
2. 車両を押してチェッカーフラッグを受けることは認められない。
3. 完走者となるためには、チェッカーフラッグに関係なく規定周回数の1/2を完了していなければならない。

【第30条 順位の決定】

レースの順位は次の順により周回数の多い順に決定される。

1. チェッカーフラッグを受け、規定周回数の1/2を完了した者
2. チェッカーフラッグを受けていないが、規定周回数の1/2を完了した者
3. チェッカーフラッグを受けておらず、規定周回数の1/2を完了していない者。

同周回数の場合は、その周回を先に完了(フィニッシュラインを通過)したドライバーを優先する。

やむを得ず競技を未完了のまま終了させた場合、主催者は審査委員会の承認を得て賞典を付与することができる。

【第31条 車両保管および再車検】

1. レース終了後、車両保管および再車検を行う。
2. 車両保管の時間は、レース終了後30分以上とし、所定の場所で行われる。保管中は技術委員の指示があるまではカートに一切触れてはならない。
3. 車両保管解除後、エントラントは車両を速やかに引き上げなければならない。
4. 技術委員は出走した全てのカートに対して検査を行う権限を持ち、技術委員長より指示があった場合はエントラントもしくはその代理人が責任を持って車両の分解および組み立てを行わなければならない。ただし、関係役員、エントラントおよびドライバー以外は検査に立ち会うことはできない。
5. 再車検に応じない場合は失格とする。
6. 上記事項の違反者に対しては、ペナルティーが課せられる。

第5章 ピットに関する事項

【第32条 ピット要員およびピット・パドック】

1. ピットクルーは、場内では主催者が発行するクレデンシャルを着用しなければならない。
2. ピットおよびパドック内で作業できるのはドライバーと登録されたピット要員のみとする。

3. ピットサインを出せるのは、登録されたピット要員のみとする。
4. ピット要員の行為については、ドライバーが責任を負うものとする。よって、ピット要員による規則違反で当該ドライバーに対してペナルティーが課せられる場合がある。
5. ピット・パドックにおいて火気の使用および飲酒は禁止する。

【第33条ペナルティー】

ペナルティーには次の3種類がある。

1. 警告
警告はその必要ありと認められた軽反則に対して発せられる。
2. ラップペナルティーおよびタイムペナルティー
ラップペナルティーおよびタイムペナルティーは、失格にならない程度の違反に適用される。
3. 失格
失格は次の反則行為に科せられる。
 1. 規則に違反して不当に得たアドバンテージ
 2. 故意に自己または他人の安全をかえりみることなく行う危険行為
 3. 与えられたオフィシャル指示を故意に無視した場合
 4. 与えられたフラッグサインの無視

【ペナルティーの例】

1. 重量違反⇒当該ヒート失格
2. 燃料違反⇒失格
3. 服装違反(車検後判明した場合)⇒着順から3位下の順位のポイント
4. 各ヒート終了時に、JAF国内カート競技車両規則に定める必備の部品が脱落の場合(後方ナンバープレートを除く)⇒当該ヒート失格
5. ローリング中の指定区間での追い越し、割り込み違反⇒当該ヒート失格
6. ローリングペースを乱した場合⇒ローリング最後尾に移動
7. プッシング、極度のブロッキング⇒ローリング最後尾に移動
8. 同行為が著しい場合⇒失格(以後のヒートを含めて)
9. ショートカット(ローリングを含む)⇒当該ヒート失格
ただし危険回避等やむを得ない場合を除く
10. 黄旗時の追い抜き⇒1周減算

11. 黒旗の無視⇒失格(以後のヒートを含めて)
12. オレンジディスクのある黒旗の無視⇒失格
13. レース中のコース内での他者の援助(メカニックの立ち入りを含む)⇒当該ヒート失格
14. 工具携帯走行⇒失格(以後のヒートを含めて)
15. ピットロード徐行違反⇒当該ヒート失格
16. 指定エリア以外で作業した場合⇒当該ヒート失格
17. コース上に停止し、オフィシャルコース員の指示に従わなかった場合、また後続車両通過前に再スタートした場合⇒1 周減算

これらを含み、その他のペナルティーについては、付則または公式通知等により通知もしくは競技長の判断により科される。大会審査委員会は状況に応じてペナルティーを軽減したり強化したりすることができる。

第7章 抗議に関する事項

[第35条 抗議]

抗議は一切受け付けない。

第8章 成績および賞典に関する事項

[第36条 成績および賞典]

1. 決勝ヒートの順位により決定する。
2. 賞典は各クラスの決勝ヒートを完走したドライバーに対して行われる。
3. SSクラスとスーパーSSクラスは混走とし、総合3位までを表彰する。

第9章 広告に関する事項

[第37条 広告]

ナンバープレートに広告を表示することは認めない。
主催者は次のものに対し、抹消する権限を有しかつドライバーはこれを拒否することはできない。

1. 公序良俗に反するもの
2. 政治、宗教に関連したもの
3. 本大会と関係するスポンサーと競合するもの

第10章 その他の一般事項

[第38条 損害の補償]

参加者は参加車両及びその付属品ならびにコースの施設、機材、器具に対する損害の補償責任を負うものとする。

エンタラント、ドライバー、ピット要員はコース所有者、主催者および大会役員が一切の損害補償の責任を免除されていることを了解しなければならない。

エンタラント、ドライバー、ピット要員は競技参加に関連して起こった死亡、負傷、その他の事故で自身の受けた損害について主催者及び役員、関係者ならびに他の競技者に対して非難したり、責任を追及したり、謝罪を求めたり、損害賠償を要求してはならない。

[第39条 主催者の権限]

主催者は次の権限を有するものとする。

1. 参加申込の受付に際して、その理由を示すことなくエンタラント、ドライバー、ピットクルーを選択あるいは拒否することができる。
2. 大会スポンサーの広告を参加車両に貼付させることができる。
3. やむを得ざる理由により、公式プログラムの印刷に間に合わなかったドライバーの登録または変更について許可することができる。
4. すべての参加者、ドライバー、ピットクルーの肖像権およびその参加車両の音声、写真、映像など報道、放送、出版に関する権限を有し、この権限を第三者が使用することを許可することができる。
5. 公序良俗に反する言動がある参加者に対しては、選手受付後であっても参加を拒否することができる。

[第40条 大会の延期および中止]

1. 天候等やむをえない場合、主催者は大会の一部あるいは全部を延期、中止または取りやめることができる。
2. 大会の全部を中止あるいは24時間以上延期する場合は、参加料は全額返還される。なお、エンタラントおよびドライバーは、これによって生じる損失について主催者に抗議する権利を保有しない。さらに主催者は大会審査委員会の承認を得て大会の内容を変更する権限も併せて保有するものとする。
3. これに対する抗議は一切認められない。

[第41条 公式通知の発行]

本規則に記載されていない競技運営上の細則や参加者に対する指示、本規則発表後に生じた必須事項は公式通知によって示される。公式通知は公式掲示板に掲示されるが、緊急の場合はドライバーズブリーフィングまたは場内放送により伝達される。

[第 42 条 本規則の解釈]

本規則ならびに競技の細則に関する疑義については、大会事務局あてに質疑申し立てができる。この回答は審査委員会の決定を最終的なものとして示される。

第 11 章 2020 年シリーズ規定

[第 43 条 シリーズの成立]

参加 3 台で成立とする。

[第 44 条 シリーズ表彰]

1. シリーズ全 4 戦のうち 3 戦が成立したクラスのシリーズ上位 3 名には、オーガナイザーより楯と副賞が贈られる。

2. シリーズポイント

シリーズポイントは決勝ヒートの順位に応じて下記の通り与えられる。

シリーズポイントは、決勝レース完走者(規定周回数の半分以上を完了した者)にのみ与えられ、不完走者、失格者および不完走者には与えられない。

最終戦は 1.5 倍のポイント(小数点以下は四捨五入)を与える。

1 位 : 20Pt 2 位 : 15Pt 3 位 : 12Pt

4 位 : 10Pt 5 位 : 8Pt 6 位 : 6Pt 7 位 : 4Pt

8 位 : 3Pt 9 位 : 2Pt 10 位 : 1Pt

上記の他、全てのドライバーに参加ポイントとして 1 ポイントが与えられる。参加ポイントは、最終戦も 1 ポイントとする。

4. シリーズポイントは 4 戦分を有効とする。不成立のレースがあった場合はその数を有効レース数より差し引くものとする。

5. シリーズポイントの対象は、2020 年当該クラスに 3 戦以上参加したドライバーを対象とする。

6. 同ポイントの場合は、上位入賞回数の多い者を上位とし、同じ場合は最終戦の順位、さらにポイント獲得の早い順で決定する。